



# おちかこうみんかんだより

第149号 平成31年3月4日発行

## おちか山学校「科学実験教室」

2月24日(日) 離島開発総合センターにおいて「科学実験教室」を開催しました。今年も長崎大学から2名の先生が来町され、参加者は総勢30名となりました。

昨年来町された、教育学研究科の教授である呉屋博先生の実験は、「熱を見る」がテーマでした。サーモグラフィを使って温度差(熱)を映像で見たり、スターリングエンジンという装置を使って、温度差を動力に変える仕組みについて学ぶことができました。

地域教育総合支援センターの近藤功先生の実験では、「磁石の不思議」をテーマに「ガウス加速器」、「電池モグラ」、「発電機」など磁石の力を利用した様々な実験器具に触れることができました。

そして、今回の目玉である「空気砲」を参加者全員で体験することができました。空気砲が発射される度に会場内では歓声が飛び交い、煙が輪になってステージまで飛んでいくのを追いかける子ども達もいました。中には連続発射で、2発目の煙が1発目の煙の輪を潜り抜ける様子を見ることができました。

参加者からは「いろんな装置があって面白かった。」、「日頃できない体験ができた。」、「また参加したい!」などの感想をもらいました。今回の講座を通して、みなさんの理科への興味がより一層強まってもらえれば幸いです。



## ～図書館からのご案内～

==新しく買った本==

- [一般書]
- ◆習近平は日本語で脅かす
- ◆「10%消費税」が日本経済を破壊する
- ◆帝京大学医学部附属病院「糖尿病教室」のかんたん!自カケア
- ◆片づけられない人は まずは玄関の靴を数えましょう
- ◆和布で作るアクセサリ
- ◆がんばらない晩ごはん献立
- ◆おいしい彩野菜のつくりかた ~7色で選ぶ128種~
- ◆草々不
- ◆骸の鍵
- ◆十津川警部 哀愁のミステリー

[高山 正之]  
[藤井 聡]  
[井田 典子]  
[重信 初江]  
[朝井まかて]  
[麻見 和史]



### たんぽぽさんのおはなし会

★期日 : 3月9日(土)  
午前10:20~  
★場所 : 図書館



### JR先生の英語のおはなし会

★期日 : 3月16日(土)  
午前10:20~  
★場所 : 図書館

春は引っ越しの季節です

返し忘れていた本やCD、図書館バッグはありませんか?  
荷造りをする前に、もう一度ご確認をお願いします!



## りっぱカンパニースからのお知らせ

3/14(木) 午後3時~5時 ワークショップ 五両だき

3/17(日) 午前9時~ 海岸清掃 五両だき

午前10時半ごろ~ ワークショップ 五両だき

○カナダのアーティスト団Urbanvesselを迎えての清掃&創作活動を行います!

悪天候の場合は中止か場所変更になります。

質問を含め連絡先は 歌野(TEL080-6453-2743)までお願いします。

## 第33回おちか音楽フェスティバル開催!



【日時】 3月10日(日) 9時開演

【場所】 離島開発総合センター市民ホール

【参加団体】 ・北松西高小値賀中合同バンド・島田 徹  
・小値賀少年少女合唱団・さわらび太鼓  
・コールみじょか・ちかはな吹奏楽団

今回のゲストは馬頭琴奏者DORAN(ドラン)さんです!

## 遊遊句抄

2月【兼題】 春浅し、雛菊(ひなぎく)、  
露の臺(ふきのとう)

春浅し会釈をくれし女人は誰  
露の臺初めての味福島に

百笑

見送りのテープ切る風春浅し  
ふきの臺古垣すき間跨ぎ生え

増円

子とつなく手をポケットに春浅し  
雛菊の花だけ摘みし幼き子

小梅

春浅し海の波間に浮くかもめ  
天ぷらに今日の散歩はふきのとう

利石

春浅し父と子だけの遊園地  
味噌の香や厨広がる露の臺

一穂

浅春の風は冷たき計の報せ  
雛菊や園児写真の澄まし顔

月歩

船瀬路に陸風降りて春浅し  
漸うに擡げて淡し露の臺

値賀助

三つ編みは懐かしことば春浅し  
雛菊を踏みたる我が足叱りたり

虫砂男

春浅し海の幸待つ婆二人  
この土に延々生きて露の臺

紫紅

航跡の耕すごとく春浅し  
雛菊に日射しかがやく蟬の庭

香松

雛菊はらくありとふ信濃路は  
顔出す日待ちあぐねたり露の臺

松月

今年度

# 公民館事業をふりかえって

## 町民の皆さまとともに歩む公民館を目指して！

### ますます元気な熟年大学

昨年の老人クラブ総会の場で、こんな呼びかけをしました。  
「みなさんの元気は、小値賀の元気。熟年大学では、みなさんの元気を後押しします。健康百歳目指して、一緒に学びませんか。」

なんと今年度の登録者数は、61名。10回の講座の参加のべ人数は、300を優に超え昨年度の2倍近くになりました。閉講式での感想は・  
「楽しかった。」「ためになった。」「とても充実した時間でした。」「島めぐり感動！」など、肯定的な意見をたくさんいただきました。ここから感謝です。

次年度も、さらに充実した講座を準備し、登録者も70名を目標に取り組みたいと思います。ぜひ、たくさんのご登録をお願いします。

### 子どもたちを鍛え育てるおちか山学校

今年の山学校は、8回の教室を計画し実践しました。

共通テーマを「生きる力を育てる」とし、何かを経験させるという教室から「鍛えて褒めて育てる」教室へと変化するように工夫しました。具体的には、大人がすべてしてやるのではなく、やり方を教え見守り、アドバイスしながら子どもの手で成功に導かせるように心がけました。例えばミニ門松づくりの際、すべての子どもに鋸を使って竹を切らせ、飾りつけも材料だけ与えて、各自で創意工夫させるなどです。

こうした取り組みが、社会教育の立場からおちかっ子を鍛え育てる手助けになればと考えています。

### 工夫が必要な婦人学級

担当が一番頭を悩ますのが、婦人学級講座。ご婦人の方々のニーズがよくわからず、どんな講座を準備したらよいのか、計画段階からつまずいています。今年度は、ガーデニング、三世代グランドゴルフ、33観音めぐりの3回の講座で参加延べ人数は40名でした。

次年度は、回数も増やしたいと思います。女性の皆さん。良い知恵があったら、お貸してください。

### 大盛況のなんでんかんでん探検隊

今年度は、ホテル見学会と白瀬灯台見学を行いました。二つの見学会とも大人気で、ホテルは34名、白瀬灯台は定員いっぱい参加者でした。両方とも多くの方々に喜んでいただき、やりがいのある有意義な探検隊となりました。

今後も、個人ではなかなかやれそうにない探検？ しかも、ふるさと小値賀を再発見できるような探検を計画したいと考えています。いい案があったら、どうぞ公民館までお知らせください。(※町民の皆さま。次年度の公民館事業にも、どしどしご参加ください。)



連載

## ヤマカンの四方山話(よもやまばなし24)

### 別れのテープ

三月は、別れの季節。お世話になった先生方との別れ。ともに過ごし、仲よく遊んだ友達との別れ。学校を卒業し、就職や進学のために島を離れていく若者たちとの別れ。

新たな出発でもある三月の別れは、「希望の別れ」かもしれません。

さて小値賀では、島ゆえに当然船の別れです。港では、見送るものと見送られるものどが、言葉を交わし合い、手を握り、時にハグし合っ、最後の別れを惜しんでいます。ここまでは、列車の別れも、飛行機の別れも同じでしょう。ところが船の別れの良さ・感動は、この後です。

島を離れる人が乗船すると必ず手に持たされるのが、見送りの一人ひとりにつながる別れのテープ。互いの絆を確認する紙テープです。そして、「お世話になりました。」「お元気で。」「がんばれよ。」「ありがとう。」「また会おう。」それぞれがありったけの思いを込めて叫びます。時には学ラン姿の団長が登場し、校歌や応援歌が歌われます。関係者じゃなくても、ついもらい泣きしてしまいそうです。

やがて、共運組の計らいで蛍の光が流れると、船はゆっくりと岸壁を離れ遠ざかっていく・・・互いに手を振り、大声を張り上げ、別れを惜しみます。ところが同時に、送るものと送られるものをつないでいた絆のテープは、無情にも切れていくのです。それでも見送りの人は、船を追い、岸壁を走り、いつまでもいつまでも手を振り続けます。見えない絆の糸で結ばれているかのように・・・。

ところで十年以上も前、こんなことがありました。50歳になったときの、同窓会の日のことです。中学三年生の時、同じクラスだったM君がお酒を注ぎにきて、こんな話をしてくれました。

「中学卒業して、就職のために小値賀を離れる時、クラスのみんなに呼びかけて、別れのテープを僕に持たせてくれた。心から嬉しかった。きついこともあった。仕事を辞めたいと思うこともあった。でも、あの船出の時の光景を思い出すと、励まされがなばることができた。ありがとう。ひと言君にお礼が言いたくて、はじめて同窓会に参加したんだ。」

涙ながらに語るM君は、別れの時の光景を昨日のことに鮮明に覚えているそうです。自分の「人生の宝物だ」とも、語ってくれました。そして、その日以来、関東に住む彼は毎回の同窓会に顔を出し、私に同じ話をするのです。

これまで数えきれないほどの若者が、小値賀港から船出をしました。きっとM君と同じように、別れのテープや別れの光景が人生の支えになったという方もおられることでしょう。別れのテープは、必ず切れる。切れて七色の吹雪のように空に舞う。テープが切れるからこそ、よけいにつながってほしいと思い、忘れられない光景になるのかもしれない。

小値賀を離れるみなさん。新天地でも、あなたらしく暮らしてください。元気な時は、思い出さなくてもいい。忘れていてもいい。もし、都会の暮らしに疲れ、会いたくなったら、いつでも会いに来てください。小値賀は、いつでもここに有ります。あなたの故郷は、ここ小値賀です。

